

## ワークショップの内容及び講師プロフィールのご紹介 (R6.10.24 時点)

### 劇作 (戯曲・演出・俳優)

「劇作」という科目に3つのゼミ「戯曲」「演出」「俳優」を設けます。劇作家が「演出」を受講したり、俳優が「戯曲」を受講したり、自分のいつもの役割とは違うものを受講することも推奨します。色々な目線で演劇を考えてみましょう。

### ★ 劇作 (戯曲) ①・② (2回連続講座) (9月8日(日)・9月23日(祝)実施)

- 上演台本(戯曲)を作成するための手がかりと、その方法について指導します。「構造で書く」という基本概念をもとに、オリジナル戯曲の構成と、登場人物の構成上の役割、台詞の役割、ト書きの役割について解説します。
- その上で、本当に必要な台詞とは何か。必要不可欠で簡潔な戯曲の構造とは何か。2回連続の講座により、短編戯曲を完成させるところまで指導します。

### 《講師プロフィール》



齋藤 歩 氏

1964年、釧路市生まれ。北大演劇研究会を経て、1987年より札幌で演劇活動。2000年より東京での俳優・演出家の仕事を開始する一方、札幌でも活動を続け、2016年より、北海道演劇財団の芸術監督。現在、北海道演劇財団の理事長。札幌を拠点にした演劇創造、東京を拠点にした映画、テレビ、舞台出演など活動は多岐にわたる。

★ 劇作（演出）①・②（11月24日(日)・12月22日(日)実施）【斎藤 歩 氏から変更】

- 「構造で書かれた戯曲」を読み解き、上演するために、その構造に基づいた「演出による設計とデッサン」という考え方について指導します。
- 台詞の役割、登場人物の役割、それらを整理・理解したうえで作品全体を設計し、場面ごとのデッサンを俳優やスタッフに明確に示し、演出家その戯曲構造をどのように読み解いたのか、それによって、俳優の登退場や台詞の一つ一つの役割や意味づけ、照明・音響・美術のプランを提示する方法などを指導します。

《講師プロフィール》



清水 友陽 氏

演出家・劇作家。札幌で活動する劇団清水企画代表。

2012年より、札幌座のディレクターに就任。創作活動以外にも、子どもたちを対象にした表現ワークショップや、大学で表現の授業の非常勤講師を務める。北海道演劇財団専務理事・芸術監督。

★ 劇作（俳優）①・②（12月8日(日)・1月13日(祝)実施）【斎藤 歩 氏から変更】

- 「構造で書かれた戯曲」そして「演出による設計とデッサン」を理解したうえで、俳優が、いかに「構造的に演じる」べきなのかを指導します。
- 感情や情動に左右されることなく、俳優が戯曲・演出の構造を理解して場面に必要不可欠な在り方を俳優がするのか。戯曲をどのように読み解くのか。台詞や立ち位置、他者の台詞や動きの受け止め方。台詞を吐き出すことよりも、相手の台詞の受け止め方の重要性に基づいた台詞の発話方など、戯曲構造に基づいた俳優の仕事について指導します。

《講師プロフィール》



磯貝 圭子 氏

北星女子短大英文科卒業後、札幌ケーブルテレビジョンにて司会・レポーター業務にあたる。フリーのアナウンサーとして活動後、AGSスタジオ生を経て2001年から北海道演劇財団附属劇団TPS（現札幌座）の専属メンバーとなる。これまでに札幌座の公演に多数出演し国内・海外ツアーにも参加。舞台のほか TVCM のナレーションやラジオドラマなど声の仕事も多数。

身体（ダンス）①・②（10月14日(祝)・3月23日(日)実施）

- ストレッチから始まり、ウォーキング（舞台の上を歩くにあたり様々な歩き方のトレーニング）、体幹トレーニング（芯のあるぶれない動きをする為の筋力トレーニング）、基盤となるステップ（ダンスを行う上で基礎となるステップのトレーニング）、身体の使い方、見せ方（舞台上で必要かと思う動きができるような表現トレーニング）、ポーズのレパートリー増やしを実施。最後にすべてを応用できる振り付けを渡すので 成果発表へと完成させます。
- 最初からできなくてもいいので、踊る事、体で表現する事への知識の貯金などの思いで、ぜひチャレンジしてみてください。

《講師プロフィール》

Fe dance studio（エフィーダンススタジオ）



Fe dance studio（エフィーダンススタジオ）は、南平岸にあるダンススタジオです。 幼少期から訓練しているメンバーが講師として在籍し 現在もプロダンサーとして 様々な活動をしているダンススタジオです。



西野 留以 氏

北海道札幌出身、4歳よりクラシックバレエを始め、6歳から Fe dance studioにてオールジャンルを学び 幼少期より数々の舞台を踏み、ダンスコンテスト等でも全国優勝を果たす。2018年 北海道未来チャレンジ基金・文化芸術第1期生として選出されロサンゼルスに留学。帰国後は道立三岸好太郎美術館にてダンス公演を行う。現在も文化芸術北海道アンバサダーとして北海道を拠点に様々なダンスシーンにて活動中。

【主な経歴】

- 2015年 『東方神起 LIVE TOUR 2015 WITH』 札幌公演出演
- 2017年 芸王グランプリダンスコンテスト全国優勝
- 2018年 北海道未来チャレンジ基金 文化芸術第1期生として選出されロサンゼルス留学  
『ENEOS × DREAMS COME TRUE ドリカム 30周年前夜祭 ENERGY for ALL』北海道公演出演
- 2020年 レバンガ開幕戦オープニング振付  
札幌文化団体フェスティバル舞台部門 芸術選賞受賞
- 2021年 CHIMERA A-SIDE 北海道にて準優勝
- 2023年 『DREAMS COME TRUE WONDERLAND 2023』 黒ドリダンサー出演

### 演技（発声）①・②（10月27日(日)・3月9日(日)実施)

- ▶ 声が小さい・嘎れやすい、セリフが不明瞭など、発声の悩みをもっている俳優は多いと思います。このWSではまず、声のでる仕組み、舌のポジション、母音と子音のバランスなど発声の基礎知識を座学で学びます。
- ▶ 続いて日々の練習の中にも取り入れられるような、体と声のウォーミングアップ方法、呼吸と発声方法などを体験。最後は台本を使って発語しながら、俳優にとって必要な声とはどんな声なのか実践を通して検証します。

#### 《講師プロフィール》

磯貝 圭子 氏

プロフィールは p2 参照

### 演技①・②（11月10日(日)・2月24日(祝)実施)

- ▶ 「セリフを喋ることが演技ではない！」「発信よりも受信が大事！」という演技論をベースに、シアターゲームを中心とした、演技者としての基礎を身につけるためのカリキュラムを行います。

#### 《講師プロフィール》

納谷 真大 氏



早稲田大学卒業後、富良野塾を経て、様々な劇団に役者として参加。2001年、処女戯曲作「EASY LIAR!」が『北の戯曲賞』優秀賞を受賞。2004年、イレブン☆ナインを結成。2022年、北八劇場の芸術監督に就任。

## 舞台テクニカル（舞台監督・音響・照明）（2月9日(日)実施）

- 「場所も時間も変わらないけど照明は変えてもいいの?」「場面転換がどうしても長くて退屈になっちゃう。」「どんな音楽が舞台に合うのかな?」…。この講座では短いテキストを元に、劇場に平台などで舞台セットを組むことから始めます。そして、実際の照明や音響を使いながら「あーでもないこーでもない」とさまざまな方法を検証していきます。舞台転換のこともじっくり考え、試したりしていきます。
- 舞台づくりの腕を磨く絶好のチャンス。照明・音響をやりたい方はもちろん、舞台監督・演出志望の方にもオススメです。

### 《講師プロフィール》



竹屋 光浩 氏

2011年札幌ハムプロジェクト★東京支部旗揚げから参加し、プロデューサーすがの公のもとでほぼ全ての公演の照明を担当。2014年から舞台照明家として活動をはじめ、2019年舞台照明チーム「ヘリウムスリー」旗揚げ。現在は札幌と東京を行き来しながらチームの新人育成も行う。基本的に演劇専門。



前田 透 氏

劇作家・演出家・役者。音楽制作もたまに。札幌を拠点に活動している。劇団・木製ボイジャー14号代表。ヒュー妄のメンバー。また、演劇公演以外にも小・中学校や高校への演劇ワークショップ講師や市内中学校演劇部の指導を行うなどの活動も行なっている。日本劇作家協会北海道支部所属。